

令和7年度第8回沼田市教育委員会会議録

1 期日 令和7年10月24日（金）

2 場所 テラス沼田 序議室

3 出席者 竹之内篤教育長、武藤英子委員、長谷川清委員、小黒陽子委員、佐藤広幸委員

4 沼田市教育委員会会議規則第19条第3号による出席者

星野盾教育部長、来原満博教育総務課長、林武史学校教育課長、武井良和生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、阿部勝良スポーツ振興課長、真船啓子総務課長補佐

5 開会宣言（午後3時30分）

6 会議録の承認

7 日程第1 議席の決定

教育長において、第1番 竹之内篤教育長、第2番 武藤英子委員、第3番 小黒陽子委員、第4番 佐藤広幸委員、第5番 長谷川清委員を指定

8 日程第2 会期の決定

会期は、10月24日の一日と決定

9 日程第3 会議録署名委員の指名

教育長が小黒陽子委員を指名

10 日程第4 教育長報告

（教育長）

佐藤委員を迎える、初めての教育委員会となる。佐藤委員には、新たな視点から示唆をいただきたい。

2点報告させていただく。

1点目は、熊の出没の対応についてである。現在、毎日何件もの熊の目撃情報が届いている状況である。本市における今年度のツキノワグマの捕獲数は10月13日現在で45頭、うち10月1日から13日までに16頭が捕獲されている。通報件数は4月から10月13日までに120件、うち10月1日から13日が64件という状況である。10月7日には熊が恩田町のフレッセイに侵入し、2人が軽傷という衝撃的なニュースもあった。全国的にも10月23日現在で、2025年度に熊の被害により死亡した人が9人となり、統計がある2006年度以降で過去最多を更新して

いる。このような状況を受け、各幼稚園、小中学校に対して、熊の目撃情報があつた地域からの登下校は原則保護者等による送迎とすること、校区内の目撃情報がない地域からの登下校についても、目撃情報があつた地域への対応を鑑み、状況等に応じて対応するようにしている。先週は教育委員会事務局全体で、朝の登校指導や放課後の車での巡回指導に当たるとともに、今週は学校教育課を中心に薄根地区における朝と帰りの送迎の交通整理等を行つてはいる状況である。現状としては熊対策の有効手段は保護者等による登下校の送迎が一番である状況であり、教育委員会としても学校が家庭や地域と連携・協働して、安全・安心を守つていけるように努めてまいりたいと考えている。

2点目は、10月の校長会の指示伝達について報告する。大きく4点について話をした。

危機管理に関連して、9月10日に発生した集中豪雨を受けての児童生徒の安否確認の自校での対応を振り返り、短時間のうちに安否確認を終了させるための対応などの課題を明らかにして、その改善策を各校のマニュアル等に反映させていくこと。

9月議会の一般質問に関連して、姉妹都市である下田市との子供同士の交流に関連させ、池田小学校が下田小学校と行つてはいる、ぬまた未来創造学への学びを生かした交流などを参考にして、オンライン等を活用した市内外との学校との交流を充実させていくこと。

人事管理に関連して、次年度に向けての経営構想を明らかにして、年度末人事の準備を進めることや、年度末人事に向けて先生方の状況や考えの把握に努めること。

不登校児童生徒に寄り添う支援に関連して、教育支援センター「きずな」や民間のフリースクール、庁内こども課などの福祉部局や県教育委員会の「つなサポ」など、関係機関等と連携・協働して一人一人に応じた指導の充実を図ること。

(武藤委員)

熊のことだが、子供が安全に登下校できることが一番である。保護者が送迎できない家庭もあると思うが、そういうときはどうしているのかと思っている。

仕事柄山へ入ることもあり、前は音楽を鳴らしたり鈴を鳴らしたりしていたがそれも効果がないような話を聞いた。何に気をつけて動いたらいいのか心配になる。野生動物研究所の方は、熊に出くわさないために家の周りの柿の木は切る、夜明けと日暮れは熊の行動時間なので動かない、そのくらいしか人間はできないという話をしていた。これからもっと大変になるのかなと思いながらニュースを聞いている状況である。

(学校教育課長)

毎朝、薄根小中学校のところに立つてはいるが、早い子供では7時くらいに保護者が送つてくるので、学校もその時間に開けて入れるようにしている。放課後も、3時過ぎから4時くらいが子供たちの下校時間だが、仕事している保護者がその時間に迎えに来るのは難しいので、保護者が迎えに来られる時間まで別室を設けて自習をして待たせるという対応を学校がしている。家が近い子供については先生が送り届けることもしている状況である。

(佐藤委員)

熊の出没に関連して、学校の登下校だけでなく、学校行事やハイキング・登山等行事がたくさんあると思うが、行事の中止や延期を判断する基準はどこにあるのか。

(学校教育課長)

フレッセイに熊が出た次の日に、小学校の陸上大会が総合グラウンドで行われた。熊よけ専用の花火を威嚇用に打ち上げたり、大きな音で音楽を流したりして、安全に気をつけて実施をした。その日は薄根中学校の職場体験学習もあったが、できる限り保護者送迎で対応していただいた。またマラソン大会を中止する小学校があつたり、遠足を予定している学校は検討するということを聞いている。明確な基準は持っていないのでその場で判断ということだが、教育委員会と学校で相談しながら実施している。

(教育長)

本日配付のセイフティ沼田というマニュアルにも熊対応の記載がある。対応について学校でも検討しているが、後ほど詳しく説明させていただく。

(長谷川委員)

熊のニュースがたくさん流れていて心配していたが、対応をしっかりとしていただいているので安心した。

中学校の制服の件だが、夏場が暑く熱中症を考えて、制服にハーフパンツを取り入れている自治体があるとニュースで見た。男子も女子もハーフパンツで、そんなのもあつたらいいと思った。最初の印象は良くなかったようだが、最終的にはすごく良いということで採用されたと聞いている。

先日開催されたスポーツフェスタは活気があって非常に良かった。去年はキッチンカーが何台か来ていたと思うが、今年来なかつたのは何か理由があるのか。

(教育総務課長)

制服の件だが、統一化に向けてのアンケート調査を実施して、形が決まったところである。形というのは男女兼用のジャケットタイプで、令和9年度の導入に向けて進めているところである。正式決定ではないが、決定に向けて校長会協議会と連絡を取りながら、制服検討委員会で準備を進めている。

ハーフパンツの件については、導入に向けた検討というのは俎上に上がっていないが、夏場のポロシャツの導入については同時進行で検討を進めている。ハーフパンツの導入等も今後話があれば、検討組織の中で導入に向けて検討されると思う。

(スポーツ振興課長)

スポーツフェスタのキッチンカーがなかつた理由だが、市の産業展示即売会、利南運動公園でテニス協会主催のイベントが重なつたためなどである。

(小黒委員)

今月はB訪問で薄根小学校、沼田西中学校、川田小学校に行かせていただい

た。薄根小学校では2年生の授業を見学したが、後ろの席の子供たちの鉛筆の持ち方が非常に悪い子が多く気になった。また教室の蛍光灯がチカチカ点滅していたのが気になった。管理の部分であるが、子供たちの目が悪くなるのではないかと心配になった。ＬＥＤ化の計画もあると思うが、臨機応変に早めに対応ができるのであればお願ひしたいと思う。

(学校教育課長)

最近の子供たちの様子を見ていると、鉛筆の持ち方だけではなく、姿勢等さまざまな面で気になるところがあるので随時学校とは話をしている。今回いただいた意見も貴重なご意見なので、指導に役立てていきたいと思う。

(教育総務課長)

教室の蛍光灯だが、在庫がある場合は学校対応、もしくは施設管理を日本管財に包括管理委託をして対応しているので、軽微な修繕は学校からの連絡で即時対応していて、基本的には管理されているものと認識している。連絡の系統を承知しているとは思うが、改めて現状を確認させてもらう。予算措置等の課題もあるがＬＥＤ化していくことは間違いないことである。子供たちが学ぶ場所でのそういう状況は好ましくないので改善に向けて努めてまいりたい。

(佐藤委員)

10月1日に教育委員になり、川田小学校のB訪問とスポーツフェスタに参加した。スポーツフェスタのモルックでは川田支部が優勝して大変喜んでいた。モルックと輪投げを特別支援学級や不登校生徒が来たときに使わせてあげるといいのではないかと思った。勉強だけでなく、友達との関係や学校へ来るハードルを低くするという意味でやっていただきてもいいのかなと思った。

もう一つ質問だが、自由進度学習というのをやっているところがある話を聞いた。自主学習と似たようなものとも言われたが、どこが違うのかがはっきりしない。自由進度学習は、どこの学校が取り組んでいるのか伺いたい。

(スポーツ振興課長)

スポーツフェスタについては、今年はモルックと輪投げを実施した。輪投げは今年からだが、参加した方には好評で楽しんでいただけた。交流等を含めて必要であると感じている。

(学校教育課長)

教育研究所では個別の学習支援が多かったが、一昨年度あたりから体験的な学びを増やすということで、調理実習やスポーツで子供たちがエネルギーを発散したりということをしているので、モルックはその一つとしていいアイデアをいただいたと思う。道具をお借りするとか、手はずを整えて連携してやってみたいと思う。同時に学校でもできるかも感じたので、そのアイデアを生かせるような形で考えたいと思う。

もう一点自由進度学習だが、今まで一斉に全員が同じスピードで同じ内容を学んでいく授業が一般的だったが、10時間で一つの単元を組んで学んでいくことを考えたときに、その単元の中で勉強の得意な子と苦手な子で最後のゴールは一緒になるようにするが途中が違う。早くできる子はどんどん教科書を

読んで自分で進んで勉強していくこともできる。ゆっくりの子は先生の個別の支援を受けながら丁寧に繰り返し学んでいく。指導力が非常に高くないと個別の支援指導ができないので、誰でもできる指導法ではないと認識している。今年度、県では総合教育センターで研修員さんが自由進度学習を研究しながら実践している。利根沼田ではみなかみ小学校、新治小学校の教員がやっている。先進的な取り組みをしている授業を、教育委員会の指導主事や学校の職員に紹介して見に行っている状況である。教育委員会ですぐやりましょうという状況ではないので、個別に先生方と相談をしている。

- ・次回開催日

次回開催を、令和7年11月20日（木）午前9時30分から予定

（教育総務課長）

- ・「沼田市新たな学校づくり実施計画」の進捗状況について
- ・11月の主な行事予定について

（学校教育課長）

- ・令和7年度沼田市通学路合同点検と対策等について
- ・令和7年度第13次沼田市教育水準向上研究授業研究会について
- ・令和7年度沼田市子ども議会について
- ・熊出没に係る対応について
- ・B訪問授業参観について
- ・運動会について
- ・小学校、中学校の体育関係について
- ・旅行・集団宿泊的行事について
- ・小中一貫教育校・義務教育学校先進校視察について

（生涯学習課長）

- ・柳波賞、ふるさと文学賞の応募状況について
- ・第43回読書研修会について

（文化財保護課長）

- ・大正ロマンエリア「ハロウィンイベント」について
- ・「ちょっとマニアックな建物見学ツアー in 大正ロマンエリア」について
- ・歴史資料館第27回企画展「沼高×沼女創立から統合まで」の結果について

（スポーツ振興課長）

- ・第2回スポーツフェスタぬまたの結果について
- ・第37回市民バドミントン大会の結果について
- ・第63回県民スポーツ大会について
- ・第1回市民モルック大会について
- ・第66回利根沼田ロードレース大会について
- ・第54回沼田市ミセスバーボール大会について

11 日程第 5 議案第 20 号 沼田市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議事の大要

沼田市学校給食センターの円滑な運営を図るために設置されている運営委員会の委員の委嘱について、議決を求めるもの。

教育総務課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

12 日程第 6 議案第 21 号 沼田市学校施設長寿命化計画（改訂版）の策定について

議事の大要

令和 2 年 3 月に策定した沼田市学校施設長寿命化計画を、新たな学校づくり実施計画の統合年度等を加味した計画に改めるもの。学校施設の長寿命化と学校再編に伴う施設整備を一体的かつ効率的に推進するための改訂版の策定について、議決を求めるもの。

教育総務課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

13 閉会宣言（午後 4 時 46 分）